

# 鉄研通信 25号

2024年8月20日制作 学校法人清風学園鉄道研究部発行  
制作 高1部員



2024年7月29日に鉄道研究部は、嵐電で貸切を行いました。

貸切った車両は嵐電が現有する最古のモボ301型301号車で参加人数は中1から高2までの計31人が参加しました。

## 301号車とは？

モボ301型301号車は1971年(昭和46年)に301・302の2両が武庫川車両工業(現・阪神車両メンテナンス)で製造されました。当初は、2007年には廃車になる予定でしたが、地下鉄東西線の京都市営地下鉄東西線二条駅～太秦天神川駅間と嵐電天神川駅の開業により乗客の増加が予想される

---

ことなどから、301号車のみ車番にちなみ2008年3月1日に復活運転を行いました。302号車は2007年に運用を離脱して2011年頃に解体されました。このため、301号車は嵐電最古参の車両になりました。また、この301号車は日本の旅客用車両と、路面電車としては日本最後の新製時からローリーポールを装備した日本最後の形式となっています。

### 主な行程

まず、10時30分に嵐電四条大宮駅に集合し、11時に301号車に乗り込み嵐電四条大宮駅を出発し嵐山駅へ向かいました。車内では前面展望を撮ったり、車内の様子を撮ったり、モーター音を録音したりと和やかな雰囲気でした。列車は、11時30分に嵐山駅に到着し自由行動となりました。嵐山駅周辺を散策する人や外で写真を撮影したりする人など各々で行動しました。出発する直前に全員で集合写真を撮り、列車は嵐山駅を出発しました。復路では嵐電に関するクイズ大会を行いました。楽しかった2時間の行程も終わり、列車は四条大宮駅に13時前に到着しました。その後は現地で解散しました。

### 感想とまとめ

自分は、今回の貸切が2度目の参加だったのですが、とても楽しめました。今後もこのような行事があれば参加したいと思います。

